

日本エネルギー学会 天然ガス部会 科学・反応システム分科会 講演会
メタンと窒素化合物の同時変換プロセス技術
～温室効果ガス削減と有効活用を目指して～

主催：日本エネルギー学会 天然ガス部会 科学・反応システム分科会

協賛：エネルギー・資源学会，化学工学会，資源・素材学会，石油学会，天然ガス工業会，日本ガス協会，
(予定) 日本機械学会

メタンは天然資源として有用である一方，温室効果ガスとしても削減対象となっています。メタンを変換し有用化合物に変換するプロセスはこの削減と有効利用に貢献するプロセスであり，様々な化合物との化学反応について提案されています。その中で，窒素酸化物などに代表される窒素化合物を利用するプロセスがあり，これらの窒素化合物は環境汚染にもつながる物質であることからメタンとの反応により有効活用することが期待できます。

本講演会では，メタンと窒素化合物を同時に変換するプロセスの研究に従事されている3名の先生方をお招きし，それぞれのプロセスの最新動向についてご講演頂きます。1件目は固体触媒を活用するプロセスのご研究，2件目は微生物を活用するプロセスのご研究，3件目は均一系光駆動型触媒を活用したプロセスのご研究について講演をお願いしています。

また，最後には総合討論にて，皆様で議論を深めたいと存じます。是非奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

●日時：2024年9月4日（水）13：00～16：30

●場所：日本大学駿河台校舎タワースコラ3F S304室

<https://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/surugadai/laschola/>

●定員：50名程度

プログラム

(司会 科学・反応システム分科会長 日本大学 梅垣哲士)

13：00～13：05 開会あいさつ

科学・反応システム分科会長 日本大学 梅垣哲士

13：05～13：55 1. 窒素酸化物を酸化剤とするメタンの触媒変換プロセスの開発

横浜国立大学大学院 高垣 敦

14：00～14：50 2. 微生物を活用するメタン脱窒技術の開発

長岡技術科学大学大学院 幡本将史

14：50～15：05 休憩

15：05～15：55 3. メタンを還元剤とする硝酸イオンの触媒的光駆動型変換プロセスの開発

九州大学大学院 松本崇弘

15：55～16：25 4. 総合討論

16：25～16：30 閉会あいさつ 天然ガス部会会長 吉田 豊

◆参加申込要領◆

(1) 申込締切：2024年8月28日（水）

(2) 参加費（消費税込み）：

会員*1	シニア会員 学生会員	協賛団体会員	学生 (非会員)	非会員
5,000円	2,000円	6,000円	3,000円	7,000円

*1 正会員，および維持会員会社の社員

(3) 申込方法：当学会ホームページのオンライン参加申込フォームにアクセスし，オンライン登録して下さい。登録後直ぐに入力内容の確認メールが返信されます。

< <http://www.jie.or.jp/publics/index/989/> >

(4) 支払方法：2024年8月30日（金）までに下記にお振込み下さい。

ゆうちょ銀行 振替口座 00170-9-55504
三菱 UFJ 銀行 神田駅前支店 （普）1772623
三井住友銀行 上野支店 （普）7469252
[口座名義 一般社団法人 日本エネルギー学会]

※領収書の発行について

領収書は振り込み明細書をご利用ください。学会からの領収書が必要な場合にはお申込の要否欄にて選択してください（請求書も同様です）。ご所属名・申込者名の請求書（pdf）を電子メールで発行いたします。

※参加費は欠席・解約の場合返却できませんので、予めご了承下さい。

●**お問合せ先**：〒101-0021 東京都千代田区外神田 6-16-9 外神田千代田ビル 4F

（一社）日本エネルギー学会「講演会」係

E-mail：jie-events2024(a)jie.or.jp ※（a）を@に変換してご使用下さい。

TEL：03-3834-6456